

証券取引所のシステム整備のあり方等に関する論点整理（第一次）
（概要）

平成 18 年 2 月 23 日
証券取引所のあり方等に関する
有 識 者 懇 談 会

1. はじめに

当懇談会においては、システム整備のあり方等に関し、望ましい方向性などの整理がなされたものについては、その都度、外部に発信していくことが重要と判断し、以下のとおり、これまでの議論の論点を整理。

2. システム問題と制度問題

- ・ システム問題は取引所経営の中心的課題に位置づけられるべき。
- ・ システム問題と制度問題との整合性をとっていくことが重要。
- ・ 行政としても、制度面を含め環境整備などの形で支援していく必要。

3. システム増強と次世代システム

(1) 備えておくべき処理能力

- ・ 海外取引所と比較して遜色ない水準にまで高める必要。

(2) 現行の取引ルール・慣行見直しの必要性

- ・ 特に次世代システムの導入に当たっては、極力、簡素なシステム構成とすることを方向性として目指すべき。
- ・ そのため、海外事例も参考にしつつ、現行の取引ルール・慣行についても、見直すべき点がないか早急に検討を進める必要。

(3) システムリスクに対する対応

- ・ バックアップサイトの整備や取引所間の連携などについて検討を急ぐべき。

4. 関連する証券取引の規則とルールのあり方について

(1) 売買単位について

- ・ 簡素化を検討していく必要。
- ・ その際、関係者の意見をできるだけ集約した上で、望ましい方策について検討を進めるべき。

(2) 売買監理等について

- ・ 取引に異常が生じたと認められる場合において、売買停止など取引所における売買監理ルール、体制のあり方についても、早急に検討・整備すべき。

(3) 誤発注による売買について

- ・ まずは取引参加者において十分な防止策。更に、誤発注とみられる注文の取り扱いについては、海外事例も参考にした上で、我が国に相応しいルールのあり方について、早急に検討・整備する必要。

5. その他

- ・ 以上の論点について、今後、海外調査の結果も踏まえた上で、国際的に競争力のある市場の構築等に向け、更に議論を深めていくこととする。
- ・ 次世代システムの開発・導入にあたっては、スピード感あるロードマップを策定する必要。
- ・ また、取引所のガバナンスや我が国における取引所市場のあり方等についても、今後、当懇談会において議論を進めていくこととする。